

平成 28 年 8 月発行

第 42 号

発行 有田川町議会

発行責任者 議長 佐々木 裕哲

住所 郵便番号 643-0021

和歌山県有田郡有田川町

大字下津野2018番地4

電話 0737-52-2111

FAX 0737-52-2198

<http://www.town.aridagawa.lg.jp/profile/gikaikoho.html>

有田川町議会広報 かわら版



ためらわないで！命をつなぐ心肺蘇生法（金屋中学校3年生の普通救命講習）

一般質問.....	2～8
新採用町職員傍聴記.....	9
各議案.....	10～11
常任委員会活動報告.....	12～14
その他の議員活動報告.....	15

一般質問

6議員が質問



- | | | | |
|--------|-----|-------|------|
| 1. 殿 井 | 堯 | | 3ページ |
| 2. 辻 岡 | 俊 明 | | 4ページ |
| 3. 岡 | 省 吾 | | 5ページ |
| 4. 小 林 | 英 世 | | 6ページ |
| 5. 増 谷 | 憲 | | 7ページ |
| 6. 堀 江 | 眞智子 | | 8ページ |

年4回の定例会一般質問は、議員の日常活動や考え方に基づいて、町長などに行政への基本姿勢方針、その時々的重要課題など、町行政全般について自由に質問ができるようになっていきます。皆さまの傍聴をお待ちしています。

なお、かわら版は誌面が限られており、原稿は一人約900字以内にまとめることになっているため、すべての質問が掲載されるとは限りません。

有田川町議会平成28年第3回定例会は、9月7日開会の予定で、一般質問は9月14日・15日に予定されています。



新採用町職員の傍聴の受付風景（9ページに関連記事）



新予算に対する取り組む姿勢はどうか

殿 井 堯

町長の今後の進退は

町 長
将来のために
体調を万全にする

【質問】 町長の体調も気になるが、今後の取り組む姿勢はどうか。

【町長】 今のうちに体調を整え全力でがんばる。

当初予算に対する各課の取り組みは

町 長
自主財源を増やしていく

【質問】 平成28年度は、151億9千万円という県内でもトップクラスの予算額を執行するにあたり各担当部長・課長に意気込みを問う。

【消防長】 町民の生命、財産を守り、住民が安心安全に暮らせるよう職員と消防団員が協力し、命を守る機関として一丸とな

ってがんばっていききたい。

【総務政策部長】 熊本地震

を教訓に土砂災害など災害対策を強化していく。

また、少子高齢化に向け、住民が主体の地域の魅力を生かした町づくり、女性が住みたい町づくりをめざし、交付金を活用していく。

【福祉保健部長】 介護保険事業の一貫として、県に對し、リハビリ専門職員の派遣を要請し、要支援認定者の自立をめざす。

また、町民が健康に暮らせるよう健康増進に力を注ぐとともに、育児相談などにも丁寧な対応を迅速に行うよう心がけていく。

【住民税務部長】 町税収納率向上に力を入れ、納税指導もしっかりと行っていく。

また、町単独事業の小中学生を対象とした子ども医療費助成にも県の補助を要請していく。

【建設環境部長】 水道はライフラインに重要なもの。

利便性の確保を優先に災害に備えていく。

また、施設の管理やパトロールなど、安心安全な水を供給できるように努める。

【産業振興部長】 産業振興のために文化財や特産物を観光資源とし、PR活動を行っている。

今年度は7カ所の地籍調査が行われる予定になっている。調査中の事故防止対策として講習などを受け、十分注意するよう心がけていく。

【企画財政課長】 普通交付税の算定替えが終了するまでの予算規模縮小が最重要課題だ。さらなる合理化と事務事業の徹底・見直しをはかり、経費の削減・効率化を進めていく。

【総務課長】 震災・洪水・土砂災害などの自然災害や交



長期総合基本計画（後期）

通事故・犯罪・火災などの人的災害のリスクや不安を少しでも軽減できるよう、町民の皆さんの安心安全な暮らしの実現に努めていく。

【町長】 合併特例債を使ってこれまで大型の予算執行をしてきたが、平成33年には特例債が終了してしまう。

今後は自主財源を増やしていく必要があるが、町民の皆さまに迷惑がかららない範囲で機構改革などに取り組んでいく。

【意見】 今後の厳しい財政状況に備え、各担当部長・課長を始め、職員一丸となつて身を引き締めてがんばってもらいたい。

今年度「子ども議会」の取り組みは 全国学力テストの公表を



明 俊 岡 辻

**今年度の「子ども議会」
取り組みは**

町 長
まずは中学校を
一巡したい

質問 有田川町で初めての「子ども議会」が石垣中学校生徒を対象に昨年開催された。

今年も「子ども議会」が開催されると聞いている。

今年の「子ども議会」はいつどのような形で開催されるのか。

町長 昨年、石垣中学校生徒皆さんの質問は、通学路などの身近なものから子育て、高齢者問題、地域の問題など、多岐にわたり、住みよい町にしたいという意思が感じられるすばらしいものであった。生徒たちのしっかりした考えに大変な驚きとうれしさを感じた。今年には八幡中学校生徒を対象で実施する。

まずは管内全中学校を

対象に一巡したい。

教育長 生徒たちは学校で学習する議会のことを

実際に体験し、授業では得られない貴重な体験ができています。また石垣中学校からの報告として

「生徒たちの地域に対する興味が高まった」

「地域が抱える課題を何とかできないかという気持ちが強くなった」

「生徒個々の発表する力、調べる力がついた」

ということを聞いている。

今後継続して「子ども議会」を開催できるようにと考えている。今年度は八幡中学校2・3年生全員で8月4日に予定している。

**全国学力テストの
結果公表を**

教育長
総合教育会議で
検討する

質問 子どもたちの学力状況を把握するために

「全国学力テスト」が平成19年度から毎年4月に実施されている。

文部科学省は結果を分析して教育課題の改善策を示すことを条件に公表を解禁している。

そこで教育委員会として、教育行政に責任を持ち、説明責任を果たすという意味でも、町民に学力テストの結果も含めて教育施策の現状・課題・成果を公表すべきと考える。公表についての教育委員会の方針は。

教育長 「全国学力・学習状況調査」結果公表は、

本町の学校規模や地域性の違いにより、町の平均正答率は公表していない。

本調査結果は、あくま

でも特定の学力の一部であり、全ての教育活動を評価するものではない。

数値に一喜一憂することなく生きる力を身につけて、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を

めざしている。

めざしている。

各学校では本調査結果を分析し、成果と課題を明確にしながらか全教員が一丸となって指導方法の工夫や改善に生かしている。

また保護者には学級懇談会や学級だより・学校だよりなどを通じて、子どもの現状や課題を知らせて保護者と学校が連携しながら、学習習慣や生活習慣の改善に取り組んでいる。

今後の結果公表は、国や県の動向を注視しながら総合教育会議で検討していく。





公職選挙法改正 選挙権年齢の引き下げに関連して 「日本一の山椒の里」今後の振興策は 公共交通機関の今後のあり方は

岡 省 吾

政治への関心を深め
若い世代の投票率向上に

教育長
子どもの頃から公民
教育を充実

質問 18歳選挙権。公選法改正により、何人の若者がその対象となるか。

町長 新たに有権者となるのは573人。

質問 政治に対する関心を深める教育にどう取り組まれているか。

教育長 地方自治を具体例に自分たちの生活と政治との関係やその仕組みについて学習している。

低投票率の問題点を学び、選挙で投票することの重要さを教えている。

「子ども議会」や「議会傍聴」も地域の課題を考える機会として有意義であり、今後も継続して取り組んでいきたい。

質問 未成年者が公選法違反で摘発されないよう啓発をどうしているか。

町長 摘発事案を招かな

いよう、違反行為を周知する啓発冊子を配布する。

基幹産業の山椒振興を

町長
認知度アップに
重点を

質問 当町は「日本一の山椒の里」として全国に名をはせているが、高齢化による耕作放棄地の問題をどう捉えているか。

町長 国の施策を講じ放棄農地解消に努めているが、解決に至っていない。

農業の持続的な発展のために、担い手の確保・育成とあわせて農地の集積・集約化による経営規模の拡大、空き家対策事業など、移住者新規就農と同時に進行で取り組む。

質問 山間過疎地域に地域おこし協力隊を導入してはどうか。

産業振興部長 地域の受け入れ態勢のこ

ともあるが、前向きに検討したい。

質問 山椒の販路拡大をどう考えているか。

町長 町としては認知度アップをJ Aと連携して取り組みたい。

最近ではメディアにもたびたび取り上げられ、米菓や加工食品会社の商品に山椒が使用されることにもなっている。

今後も大手企業とのパイをつなぎ、消費のさらなる拡大に努めたい。

質問 山椒の持つ新たな成分や効能を探れないか。

町長 新たな効能が発見されれば価値も上がると考えているので大学などに相談したい。廃棄処分になる山椒の種を土壌に



町広報6月号で山椒を特集

混ぜると殺菌効果が得られ、農作物作りに良いと聞く。研究を進めてもらえるようお願いしている。

路線バスの継続を

町長
補助金を見直す

質問 民間会社が運行している路線バスは過疎地の欠かせない交通手段だ。路線縮小や廃線とならぬよう安定して継続できるようにされたい。

町長 会社から抜本的な見直しの話も聞いたが、町としては地域住民の重要な交通機関であるため、存続を申し入れた。厳しい経営状況も理解し、補助金の見直しをして運行をしてもらう。

今後もあらゆる手段を講じて交通体系の維持に努める。

熊本地震の防災計画への影響は AEDの現状と活用は



小 林 英 世

本町の地域防災計画
見直し状況は

町 長
できるだけ早く
進めたい

質問 有田川町の地域防災計画の見直し状況は。

町長 平成27年に一部改正。この8月に防災会議を予定している。

質問 平成27年の改訂内容は、どこで確認できるのか。

総務政策部長 町のホームページに掲載している。

質問 熊本地震は防災計画改定に影響するのか。

町長 今回の見直しには影響しない。国・県の想定や指針が示され、整理されてくれば今後の見直しに反映したい。

質問 防災計画の広報・啓発の現状と課題は何か。

町長 「広報ありだがわ」やホームページで広報活動に力を入れている。町広報では1月から防災コーナーをもうけ、啓発に

取り組んでいる。

町民皆さまの防災意識をいかに高めていくかが大きな課題である。今後、「災害時の心得」のような、より分かりやすいものを作り、啓発に努めたい。

町の指定避難所数は
適正か

町 長
地勢や人の分布に
応じたものである

質問 巨大地震時の避難所利用者をどのように想定しているのか。

町長 平成26年に出された県の想定では、南海トラフ巨大地震の避難者数を4600人と想定している。指定避難所の収容人数は9000人以上である。

質問 本町の指定避難所の数は適正か。

町長 人口集中地域では数は少ないが規模が大きく、山間地域では規模は小さいが数を多く指定し

ている。地勢や人の分布に応じたものと考えている。

質問 指定避難所は多くの避難も想定している。

多くの避難所を設置している地域では物資の配布も大変になる。避難所の集約もあるのか。

総務政策部長 必要な場合は集約もある。

質問 指定避難所の設置や運営はどのようにしているのか。

町長 運営についてはマニュアルがある。設置直後は担当者が運営の支援にあたるが、軌道に乗れば避難者が自主的に運営することになっている。

AEDの設置状況は

町 長
町内36カ所に
設置している

質問 AED設置の現状は。

町長 AEDは小中学校、



公共施設に設置しているAED

役場庁舎および、その他の公共施設など、合計36カ所に設置をしている。

質問 AED本体や消耗品の耐用年数はどうか。また、交換はどのように行うのか。

総務政策部長 本体の耐用年数は5年から8年。電極パッドは2年から3年。電池は4年。多くはリースで業者が対応している。

質問 AED設置及び使用研修を今後どのようにすすめるのか。

町長 AEDが必要と思われる場所に設置しているが、今後必要があれば検討する。

使用研修は普通救命講習を通じて受講者を増やしたい。



防災・災害対策は急務だ 対策は十分か

増 谷 憲

人命優先で防災対策の強化と準備を

町 長
死者を半減する
目標で取り組む

【質問】 地域防災計画の見直しをされるが、減災目標はどうか。

【町長】 今後、死者および重傷者を10年間で半減する。

【質問】 木造住宅の耐震化は、建築基準法の見直しで平成12年5月以前の基準とした。町も平成12年5月以前の基準にされたい。

【町長】 基準を平成12年5月以前にする予定はないが、今後の推移をみながら検討したい。

【質問】 国・県の助成制度で耐震ベッドや耐震シェルターの助成制度がある。すぐに避難できない高齢者や子どもなどに有効。設置工事の3分の2が補助対象。残り3分の1の半分を町が助成してはどうか。



熊本県大津町の災害ボランティア

をはかり、多くの方が設置希望すれば検討したい。

【質問】 仮設住宅の候補地はどこか。何戸建設できるか。

【町長】 明恵峡温泉第2駐車場、旧北小学校グラウンド、清水若者広場の3カ所を選定。174戸が建設可能。

【質問】 り災証明は被災者が各種支援を受けるために必要。り災証明を早く発行できるような体制がとれるか。

【町長】 各自自治体から調査員を派遣してもらおう。また住家被害認定士は現在16人の職員が登録済。資格者を増やしながら対応したい。

【質問】 民家や畑へ流入した土砂の撤去などの支援策は

どうか。

【建設環境部長】 状況により、支援策を考えたい。

【質問】 防災上撤去の必要がある空き家を撤去できる支援策はどうか。

【建設環境部長】 まず空き家対策の実態調査から検討したい。

【質問】 有田川河川の護岸を調査し、計画的に改修していただきたい。

【建設環境部長】 今後有田川河川改修促進協議会で粘り強く要望したい。



大津町ボランティアセンターでの注意事項の説明

どんな不安もなく子育てができる町 保育児童送迎時の安全を守って



堀 江 眞 智 子

保育を求める方のニーズ
に定める条件整備を

町 長
国の制度を基準に
対応する

質問 保育所の利用については、児童福祉法で「保育を必要とする場合」の条件を定めている。町は現在の保育ニーズに応えられる施策を進めていくことが求められている。

下の子どもが生まれた場合、上の子が保育所を退所しなければならぬ。産休・育休中の母親が家



きび森の保育所

にいることを理由に保育を受けられないということとは、あつてはならない。育児休業から復職する際、必ず子どもが保育所に入所できる保障はない。

「子どもは有田川町の宝」である。子どもの保育を希望する保護者のために全員入所させることはできないのか。

そのためにも現在、半数を占める臨時・非常勤保育士を正規雇用にしていくことを求める。

町長 保育のニーズは、近年変化し、多様化していることは認識している。

国の制度である「保育を必要とする児童等」を基本に、保育を行っていきたい。保育士の雇用は現状の採用方法で対応していく。

教育長 子ども

を保育所に預けられない場合、一時預かりや子育て支援センターの設置で、安心して子育てできる環境整備に努めている。保護者が在宅の場合「保育を必要としない」と判断している。

保護者が職場に復職する際は、希望する保育所に入所できるように配慮している。

質問 妊娠中の母親が不安を持ちながら過ごすことがないようにつくることが大切ではないか。

教育部長 個々のケースを考えながら対応している。

保育児童送迎時の安全を

教育長
関係機関と協議
する

質問 「きび森の保育所」前の道路に自動車やバイクが高速で進入してくることがある。



保育所通入口に安全標識などを

不測の事態が起らないように、道路の入口に進入車両へ注意を喚起する看板の設置や児童送迎時間帯は進入を控えることなど対策をされた。

教育長 道路の標識や看板など、関係機関と協議しながらきめ細かい対策を講じる。

*他に地元区から求められている迷惑駐車への対応と駐車場確保について質問をしました。

地域の発展に貢献したい

＝新採用町職員が議会を傍聴＝

平成28年4月1日採用の町職員が議会一般質問を傍聴

する研修を行い、感じたことを書いていただきました。

堅苦しいイメージがあったが

議会の傍聴と聞いたとき、堅苦しいイメージがあったのですが、実際に傍聴させていただいたことによって、私の知らない細かい行政の仕組みや問題点を知ることができました。

特に、質問に対し、即座に答えていたところが印象に残っています。

担当課以外の仕事に理解が深まる

自分の所属する課以外の仕事の取り組みに対する理解が深まりました。また、今まで知らなかった和歌山県全体の取り組みについても知ることが

できました。

子ども議会が開催されていることや、その議会が子どもにとって有意義な効果をもたらしていることを知り、こういった機会を通して有田川町は もちろん、和歌山県全体がレベルアップしているばいと思えました。私も地方公務員として、地域発展に貢献したいと改めて思いました。



議会は行政のチエック機能

議会を傍聴したのは今回が初めてでした。私たち町職員が行う仕事や、行った内容について町民代表として議員がチエック

クしているということを感じました。

職員として、町民の皆さんに理解・納得していただける仕事をするように心がけようと思いました。

町全体の取り組みが理解でき勉強になった

初めの「今後の有田川町をどのように支えていくか」という各担当部長、課長への一般質問に対する答弁を聞いて、有田川町全体がどのような取り組みをしているのが理解でき、非常に勉強になりました。

町執行部と議員のやりとりが印象的だった

質問に対して町長、各

部署の部長が部の方針、考え方を答弁し、それに対してさらに質問していく様子がすごく印象的でした。

有田川町を今よりさらによい町にしようという意気込みが感じられ、私もこれからさらに頑張つて行こうと思いました。

町民が町の政策に関心を持って傍聴していると感じた

最も印象的だったことは、町民の方々が傍聴席にいらしたことです。自分の町の政策にそれだけ関心を持っていることを感じ、それに応えられるよう、より住みよいまちづくりへ意識を高めていかなければならないなど強く思いました。

小水力発電施設（4月から6月までの実績）

約35万kwh発電（一般家庭約760戸分の1カ月分）

約1,260万円を売り上げる

平成28年第2回定例会を、6月7日から21日までの日程で開催し、本定例会に提案された平成27年度一般会計補正予算・各特別会計補正予算、平成27年度一般会計・各特別会計繰越明許費繰越計算書の報告、条例の一部改正、平成28年度一般会

計補正予算、平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算、辺地総合整備計画の策定、字の区域の変更、工事請負契約など、提案された議案を審議し、原案の通り可決しました。

平成27年度 一般会計補正予算 （専決処分）

3億9437万円

「町税、各交付金、地方交付税、国および県支出金、町債などの額が確定したため、不用額（未執行額）を減額する一方、各基金に積み立てる」

平成27年度 各特別会計補正予算 （専決処分）

「事業費が確定したことにより、国・県支出金、交付金、繰入金、町債などの額が確定したため、増額・減額補正する」

平成28年度 一般会計補正予算

△1799万円

○子ども・子育て支援システムプログラム変更

委託料 83万円

○山の恵み活用事業補助金（清水グラウンドカバー生産組合補助）

65万円

○道路新設改良費事業費 関連 △3857万円

○電子計算費（使用料など） 97万7千円

【質疑】 電子計算費の97万7千円の使用料の内容は。

【総務政策部長】 平成29年1月からマイナンバー制度の運用が始まることに伴い、県内の自治体が共同で、情報セキュリティの強化を図るシステムを利用するための使用料である。

平成28年度 国民健康保険事業 特別会計補正予算

270万円

○法改正に伴う納付金等算定システム連携業務委託料 270万円

【質疑】 国保制度関係業務準備事業費補助金の内容はどうか。

【住民税務部長】 平成30年度の国保広域化に向けて、本年10月から県において平成27年度、28年度のデータにより、市町村の納付金額並びに標準保険料率の検討、決定作業に入る。

それに伴う町から試算に必要な基礎データとして保険者情報、被保険者数情報、世帯数情報、所得総額情報、固定資産税額情報などの提供が必要。提供するために各市町村のシステムに連携作成機能を追加改修する。

繰越明許費 繰越計算書の報告

○平成27年度一般会計・各特別会計繰越明許費繰越計算書、水道事業会計予算繰越計算書

「平成27年度各予算の経費を平成28年度に繰越して使用するために繰越計算書を調製し報告するもの」

条例の一部改正

◎消防団員等公務災害補償条例の一部改正（専決処分）

◎町税条例等の一部改正（専決処分）

◎国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）

質疑 賦課限度額の基礎課税額2万円上げて54万円に、また後期高齢者支援金課税分2万円上げて19万円になる。

賦課課税限度額の合計でいくらになるか。

住民税務部長 賦課限度額は85万円から89万円となる。

質疑 厚生労働省が指導している賦課限度額の

超過割合を15%にすれば医療分で80万円、後期高齢者支援金分で22万円、介護分で17万円の試算となる。そうすると医療分でまだ26万円、後期高齢者支援金分で3万円、介護分で1万円引き上げることとなる。

介護分がそれに近づいているので今回引き上げの対象になっていないのか。

住民税務部長 今回の引き上げ分は医療分、後期高齢者支援金分である。

介護分の限度額超過世帯割合のバランスを考慮して据え置くとした。

質疑 厚生労働省が示している賦課限度額の超過割合15%にあたる世帯の給与収入は1040万円以上となっているが、当町は何世帯あるか。

住民税務部長 22世帯である。

質疑 厚生労働省の推計では賦課限度額超過世

帯の割合は2・25%で15%へ近づけるために今後とも賦課限度額を引き上げていくことになる。

当町では、医療分と後期高齢者支援金分、介護納付金分で賦課限度額超過世帯の割合はどうなるか。

住民税務部長 医療分は4・23%。後期高齢者支援金分で1・88%。介護納付金分で1・55%となる。

報告

◎一般社団法人有田川町ふるさと開発公社の経営状況について

計画の策定

◎辺地総合整備計画の策定

「生石地区防火水槽設置」

字の区域の変更

◎ほ場整備工事で農地の集約化等を行った結果、

登記所の公図を変更する必要があるため、小川区の小字界を一部変更する

請負契約

◎公共下水道吉備第1幹線管渠布設工事（第11工区） 5286万円

◎公共下水道吉備第1幹線管渠布設工事（第12工区） 7285万円

◎公共下水道吉備第1幹線管渠布設工事（第14工区） 5166万円



下水道工事現場

請願の審査結果

請 願 名	付 託 委 員 会	審 査 結 果
介護報酬の緊急再改定を求める請願書	総務文教福祉常任委員会	継続
後期高齢者医療制度の保険料軽減特例の継続に関する請願	産業建設住民常任委員会	継続
後期高齢者医療制度の保険料に関する請願	産業建設住民常任委員会	継続

総務文教福祉常任委員会視察

町内中学校・小学校・保育所を訪問して

委員長 小林 英世

5月26日と27日に総務文教福祉常任委員会です町内の小中学校および保育所を訪問しました。

今回、日程の関係ですべてを訪問できませんでしたが、行けなかったところには後日訪問したいと考えています。

視察実施内容

- ①管理職から現状説明
- ②質疑応答
- ③授業風景等の視察
- ④施設・設備の見学

保育所

清水保育所ときび森の保育所を訪問しました。

英語でダンス
(清水保育所)

園児の元気な笑顔に一同癒やされました。

清水保育所での英語遊びはALT（外国語指導助手）と園児たちの日頃のつながりの深さを垣間見ることができました。

きび森の保育所では園児たちがスロープを使って元気に遊んでいるのが印象的でした。

質疑の中で一般車両の通行に懸念する意見がありました。グリーンベルトの敷設や標識の設置が望

まれます。

民間委託になった給食をランチルームで試食、整然と食べる園児たちに感心しました。スタートして2カ月、問題があれば行政がすぐに対応してくれているとの説明を受けました。

今後も課題が出てくると予想されますが、スタッフと行政が意思疎通を図り、迅速に対応してくれるものと思います。



園児が遊ぶ森の保育所

小学校

久野原、城山西、西ヶ峯の小学校は小規模で手厚い指導が印象的でした。



久野原小学校の授業風景



城山西小学校での意見交換



西ヶ峯小学校での意見交換

なお、城山西小学校は平成28年度末で休校します。御霊小学校は中規模校でバランスの良さを感じました。

藤並小学校は生徒数の



御霊小学校図書館

増加が心配される大規模校です。今後生徒数の増加と施設の関係では、現時点の予想は平成34年まではどうにか今の施設で対応できるとのことでした。



藤並小学校図書室

図書館司書の配置は御霊、藤並で大きな成果をあげています。読書の冊数が増えるだけでなく、興味の広がりや「調べ学習」の充実がみられ、国語力の強化が期待できると思います。

小学校での主な質疑

- いじめや不登校の現状
- 全国学力学習状況調査の結果と対策
- Webカメラやテレビを使った授業内容
- 教職員の資質向上について
- 休校に向けての問題点
- 少人数の問題点
- 転校生の状況
- 生徒数の推移予想
- 登下校の安全指導
- 地域と学校のかかわり
- スマートフォンの所持率
- ノートレビデー、ノーゲームデー
- 全国学力学習調査の結果をふまえ、基礎力、応用力を伸ばして頂きたいが、結果に振り回されないことをお願いしたい。
- 学力も大切だが、人間としての総合力をじっくり

中学校

り育んで欲しいものです。



白馬中学校

白馬中学校は1年生の受け入れを停止しており、2年後には休校する予定になっています。

在校生は白馬中学校卒業を強く望んでおり、教師、保護者、地域住民、卒業生が連携し、誇りを持って卒業できるように取り組んでいます。

金屋中学校は校区が広く、スクールバスが5路線

7経路運行されています。

校内を見学しましたが、落ち着いて取り組む様子がよく分かりました。

吉備中学校は試験中の午後に訪問したので、授業参観はできませんでした。

通学状況が話題になり、ヘルメットや雨天時のカッパの着用など近年大きく改善されており、学校全体が落ち着いていると説明を受けました。

中学校での主な質疑



授業風景を見学（金屋中学校）

- いじめや不登校の現状
- 全国学力学習状況調査の結果と対策
- クラブ活動の現状と課題
- SNSの問題点
- 進路先状況
- オーストラリア研修に関して
- 英語検定の結果
- 地域と学校のかかわり
- 通学の安全対策
- 自転車保険について
- 各校、各所環境も違い、課題も違いますが、真剣に取り組んでいる様子がよく分かり、大変嬉しく思いました。



吉備中学校での意見交換

産業建設住民常任委員会調査

小川地区「字」の区域変更現地調査など

委員長 殿井 堯

6月9日、産業建設住民常任委員会を開き、現地調査を行い説明を求めました。

現地調査では、関係地権者には了解をとっていること、ほ場となったところ

ろには、住宅は建てられないなどの制約があることなどが説明されました。

「字」の区域の変更現場を調査

小川地区農村総合整備事業では、農道や排水路の位置変更、農地の集団化などによって土地の形状が大きく変更となりました。

そのため登記をする場合、従来の「字」界では現状と合致しないため、「字」の区域を変更する議案が提出され、当委員会に付託されました。



小川地区の農村総合整備事業（字「碓」）



同上農村総合整備事業（字「上野」）

他の調査および検討事項

ふるさと開発公社に指定管理を委託している「二川温泉」と「ふるさとふれあいの丘」の2カ所を現地調査しました。

理事長からは、施設の状態や入込客について説明が行われ、最近は運営状況の改善が進んでいるとのことでした。

当委員会では、一層の経営努力を要請しました。



二川温泉



沼谷地区の間伐状況と作業道の調査

他に、沼谷地区間伐事業現地調査と請願2件の審査を行いました。

国道対策特別 委員会 活動報告

国道の進捗状況を調査

6月13日、国道対策特別委員会を開きました。
今回、国道480号・424号の有田川町管内



国道424号（畦田地内）



国道480号（板尾地内）

路線の整備状況、県道海南金屋線の整備状況の調査を行いました。

要望事項

- 国道480号、清水地内拡幅整備
- 国道480号田殿橋から中央橋間の拡幅整備



県道海南金屋線鏡石トンネル予定地（上六川地内）



国道424号吉田バイパス道への接続地点（吉田地内）

- 吉田バイパスなどの早期完成
- 丹後の森交差点右折レーンの設置
- 県道海南金屋線の早期完成

全議員が認知 症サポーター 養成講座を受講

あなたもサポーター になろう

6月21日、議員全員を対象にした認知症サポーター養成講座を受講しました。

認知症の人への対応として、驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない、という3つの心得が大事です。

そして、まずは見守る、余裕をもって対応する。

声をかけるときは一人で、後ろから声をかけない。相手に目線を合わせて優しい口調で、穏やかにはつきり話します。相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する、ということが大事です。

認知症の方は全国で462万人、軽度の方を入れると860万人とも言われています。

高齢化に伴い認知症の方が今後は増えていく見込みで、

その中でも和歌山県は65歳以上の人口が29万6593人（近畿で1位）、全国でも6位と高くなっています。有田川町は人口2万7460人に対し、65



講座を受講する議員

歳以上の人口が8324人（高齢化率30・3%、県下19位）です。
平成28年3月末現在で認知症サポーター・キャラバンメイトの数は2233人です。
多くの人が認知症の正しい知識を身につけ、地域で支えていくことが必要です。あなたも認知症サポーター養成講座を受講してみませんか。

～小学生通学合宿～ 最後のカレーパーティー楽しかった！



吉備地域

金屋地域

清水地域

議会広報編集

特別委員会

◎ 増谷 憲
○ 小林 英世

辻岡 俊明
林宣 吾
岡省

◎は委員長
○は副委員長

求む!



広報委員会では、議会の表紙を飾る写真・イラストなど、町民の皆さんから募らせていただいております。

有田川町の名所や風景など、お気軽にご応募ください。

皆さんからのご意見、ご感想もお待ちしております。

和歌山県 町村議会議長会 自治功労者表彰

森本 明 議員



11年以上にわたり、町議会議員として地方自治の発展に顕著な功労が認められ、和歌山県町村議長会より表彰されました。

編集後記

一般質問の方法に「一問一答」方式が追加され、議員のほとんどがこの「一問一答」方式で質問するようになった。

従来の「一括質問一括答弁」方式と違って、議題に対する質疑応答が順番になされ、制限時間内に何回も質問できるようになったため、議会傍聴者には中身が分かりやすくなり、議論が深まるようになった。

おかげで、同僚議員の一般質問の記載文は質疑・答弁のエキスのみを残して大半の部分を削除している。その結果、つじつまが合わなくなった、問答がかみ合わない文章がでたりもする。質問者の質問主旨を生かすように議長を含めた7名で推敲に推敲を重ねて作成しているが、「書くことは考えること」を痛感する次第である。

(辻岡俊明)

お問い合わせ ☎ 521-21111
吉備庁舎4階 議会事務局まで